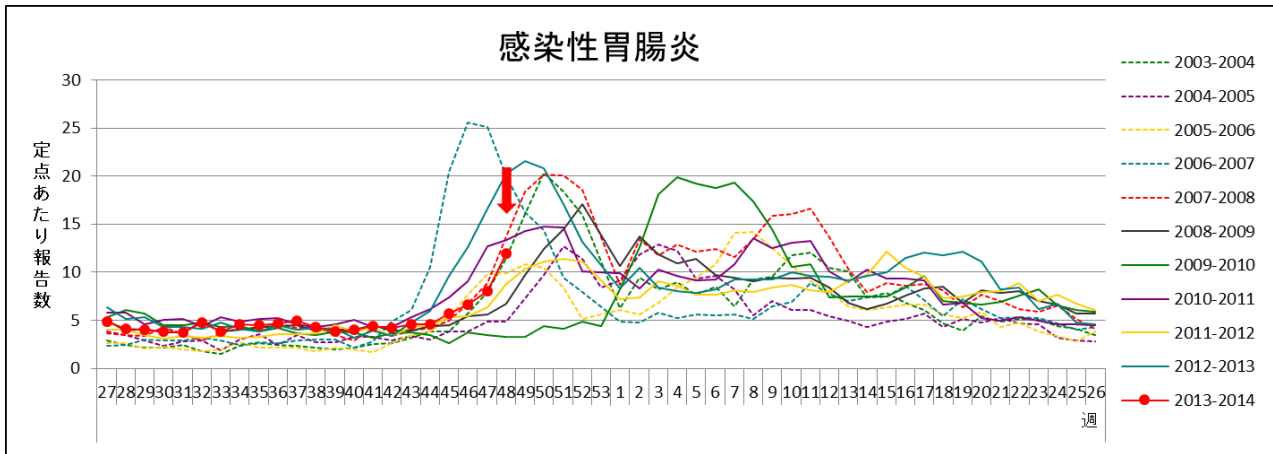
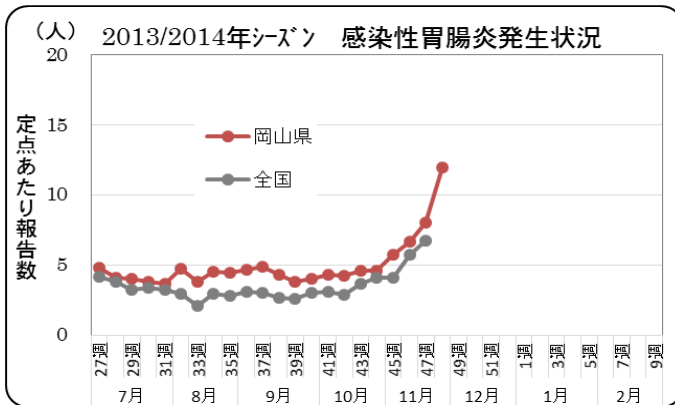


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 48 週 (11 月 25 日 ~ 12 月 1 日)

- 感染性胃腸炎は、県全体で 647 名（定点あたり 8.07 → 11.98 人）の発生がありました（54 定点医療機関報告）。
- 11 月 25 日、岡山市の小学校で、今シーズン初となる感染性胃腸炎による臨時休業がありました。



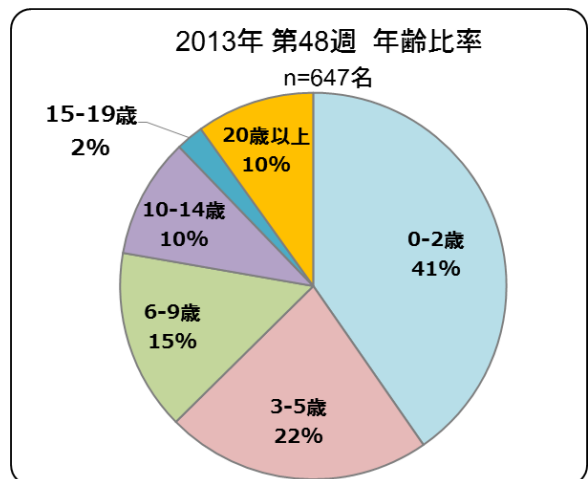
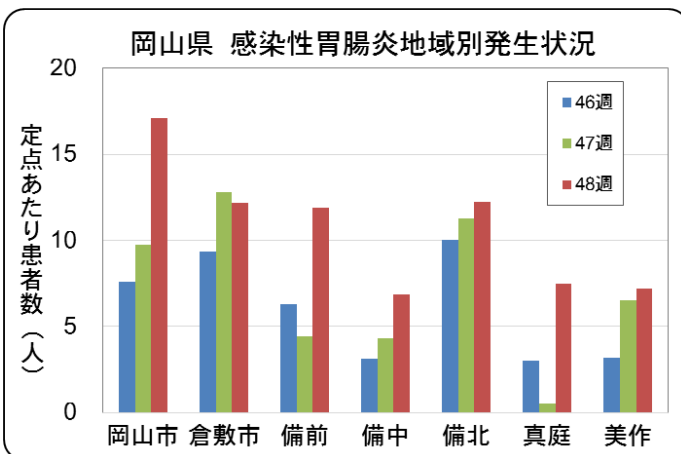
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。



感染性胃腸炎は、県全体で 647 名（定点あたり 8.07 → 11.98 人）の発生があり、前週より大きく増加しました。

11 月 25 日には、岡山市の小学校 1 校（2 クラス）で、今シーズン初となる感染性胃腸炎による学級閉鎖の報告がありました。冬の感染性胃腸炎の原因はウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは感染が拡大することがありますので、手洗いの徹底や下痢便・吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、岡山市（9.71 → 17.07 人）、備北地域（11.25 → 12.25 人）、倉敷市（12.82 → 12.18 人）の順で定点あたり患者数が多くなっており、岡山市、備前地域（4.40 → 11.90 人）、真庭地域（0.50 → 7.50 人）で大きく増加しました。

年齢別では、0～2 歳が全体の 41%と、多くを占めています。

【感染性胃腸炎とは】

感染性胃腸炎は、主にウイルスや細菌を原因とする胃腸炎の総称で、冬に流行する代表的な感染症です。1年を通じて発生が報告されますが、患者発生ピークとなる12月にはノロウイルスが原因となることが多く、その後の春のピークはロタウイルス、夏期には腸炎ビブリオなどの細菌が原因となると考えられています。

[○感染性胃腸炎とは（国立感染症研究所）](#)

[○IDWR2012年第48号＜注目すべき感染症＞感染性胃腸炎](#)

＜冬期に多いウイルス性胃腸炎について＞

【症状】

1～2日の潜伏期の後、嘔吐、下痢、腹痛、発熱が見られます。ノロウイルスを原因とする場合、症状は1～2日と短期間ですが、ロタウイルスを原因とする場合は5～6日つづくことがあります。

【感染経路】

ウイルスが人の手などを介して、口に入ったときに感染する可能性があります。

1. 感染した人の便や吐物に触れた手指を介してウイルスが口に入った場合
2. 便や吐物が乾燥して、細かな塵と舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを吸い込んだ場合
3. 感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べた場合
4. 汚染されていた二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合

特にノロウイルスは、100個以下の少ない量でも感染が成立する、非常に感染力が強いウイルスです。

【治療】

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎への特別な治療法はなく、対症療法が中心です。通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

【予防】

1. **最も大切なことは手を洗うことです。**特に、排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
2. 嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、**処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。**使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、塩素系漂白剤で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。
3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いした後、85℃で1分間以上の熱水洗濯が適しています。熱水洗濯が行える洗濯機がない場合は、**次亜塩素酸ナトリウム※の消毒が有効です。**
※塩素系の漂白剤（使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。）
4. 嘔吐物は思った以上に遠くまで飛び散ります。ウイルスが残らないように、塩素系消毒剤で広い範囲を確実に消毒しましょう。ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。
5. 食品は中心部まで十分に加熱しましょう。



[○ノロウイルスに関するQ&Aについて（厚生労働省）](#)

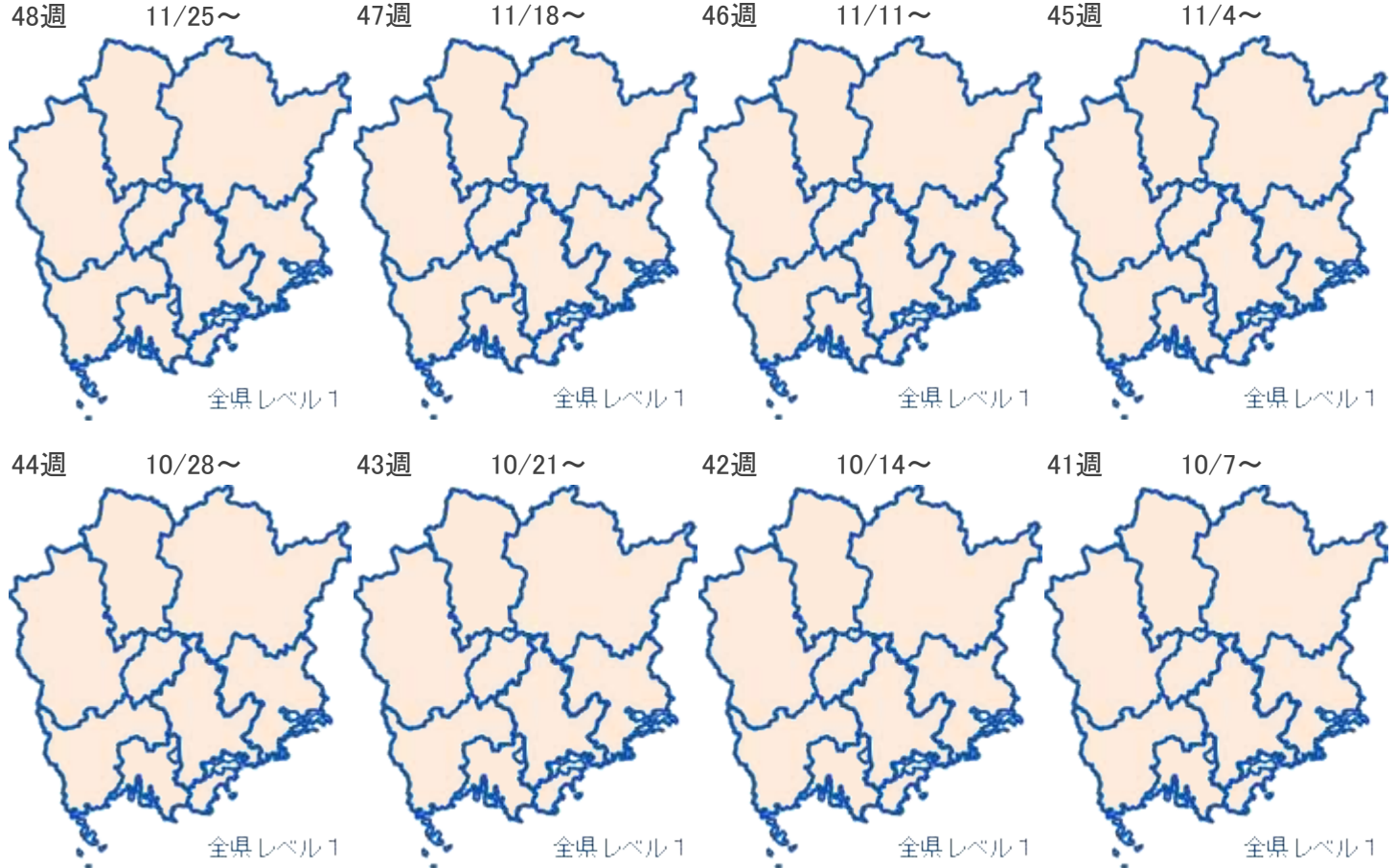
[○ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所）](#)



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 48週

2013年12月4日

11:19:01



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。